

文化を創る、フラッグシップ。

2026 冬

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.44



特集

2025年しずおか連詩の会

GRANSHIP グランシップマガジン vol.44 2025年12月15日発行

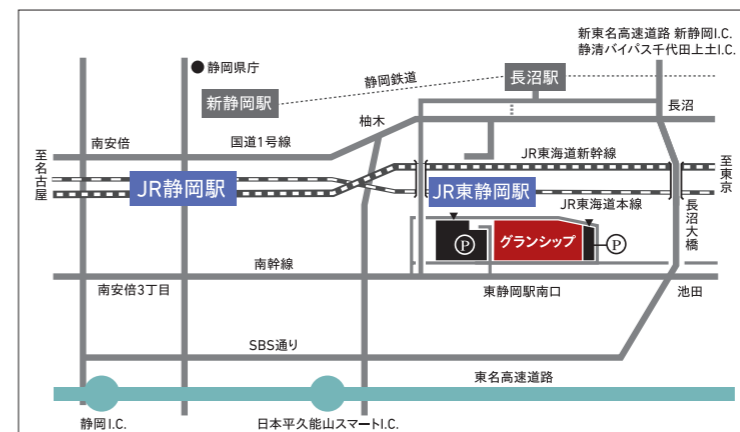
公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポーターズEYE



静岡 JAM2025

撮影部門サポーター:猪熊 康夫



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
日本平久能山スマートI.C.から10分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分



静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>

2025年しずおか連詩の会

言葉が連なり、ひとつの風景へと育まれる。5人で40詩を編み上げる「しずおか連詩の会」。今年には詩人・小説家・ラッパーが交わり、多層の感性がスリリングに響き合いました。創作の舞台裏と詩人たちの解説の一部をお楽しみください。



03 GRANSHIP Special Stage
2025年しずおか連詩の会

Interview

スペシャルインタビュー・グランシップ静岡能く雛の宴
『最大瞬間風速』を舞台に刻む。

その更新こそ継承になる。

宝生流第二十代宗家 宝生和英

08 能楽は、自分だけの気づきを
見つけた瞬間が面白い。

大倉流小鼓方十六世宗家／人間国宝 大倉源次郎

Column

10 岩下尚史の

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
VOL.4 アンチエイジングの仙薬

Pick up

11 4人が紡ぐ、新たな響きを

チエロ・カルテット

横坂源／上野通明／水野優也／伊東裕

Interview

12 「静岡JAM2026」出演

ギタリスト・ソエジマトシキさんインタビュー

13 GRANSHIP Event Calendar
2026年1月～3月
グランシップイベントカレンダー

Exhibition

16 新春は東へ西へ。文化・芸術の旅で新たな魅力を発見！
1月～3月のイベント情報

Information

20 ふじのくに地球環境史ミュージアム &
静岡県富士山世界遺産センター

Information

22 SPAC Interview
『ガリレオ〜ENDLESS TURN〜』演出
多田淳之介インタビュー

Information

23 静岡県立美術館

中村宏アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ

Information

24 グランシップ
こどもたちのための文化芸術プロジェクト

Outreach

26 グランシップ子どもアート体験！学校プログラム
「村田陽一ビッグバンド」関連アウトリーチ
静岡県立静岡東高等学校校演奏指導

Information & Communication



表紙の絵



福井利佐「宝」2025年制作 切り絵

今号の題字は「宝」です。全体の色味は「ひなまつり」をイメージしております。今号ではグランシップ伝統芸能シリーズで「ひなまつり」をテーマに能楽の演奏や「西王母」の演目があるということで宝生流の家元宝生和英さんのインタビューもあります。まさに「宝」です。お能の演目は怨み辛みが多い中、「西王母」は女神と、三千年に一度花開いて実を結ぶという桃が出てきて祝うということでもおめでたい演目ということで、毎年恒例の連詩の会や、チエロ・カルテットの要素もアクセントに入れて華やかで桃らしい可愛い雰囲気心がけました。

福井利佐(ふくいりさ)
1975年静岡県出身。多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。観る者を圧倒させるような生命力のある線の世界を描き出す切り絵アーティスト。直木賞作家の桐野夏生氏、木内昇氏の小説への挿画や装丁、NHK太宰治短編小説集「グッド・バイ」の映像制作、NHK「猫のしっぽカエルの手」オープニングタイトル制作などがある。お能の宝生流家元主催の「和の会」メインビジュアル担当(2008～2018)。福音館書店月刊「かがくのとも」から絵本「むしたちのおとのせかい」(2019)「からまつ〜ふじさんにもりをつくるき〜」(2022)を刊行。その他、国内外の個展や合同展の参加、ワークショップなど多方面で活躍中。



雑談が詩に変わる。



言葉の共同作業で、詩作の喜びを知りました。

星野 智幸(ほしの ともゆき) / 小説家

米国生まれ。新聞記者、メキシコ留学を経て小説家となる。1997年『最後の吐息』でデビュー以来、『俺俺』で大江健三郎賞、『夜は終わらない』で読売文学賞、『焰』で谷崎潤一郎賞など受賞多数。昨年、言葉の新たな領域として詩に目覚めた。初参加。



速さと瞬発力に背中を押され、

普段とは少し違う詩作ができました。

川口 晴美(かわぐち はるみ) / 詩人

福井県生まれ。大学在学中に詩作を始め、『半島の地図』で山本健吉文学賞、『Tiger is here』で高見順賞、『やがて魔女の森になる』で萩原朔太郎賞を受賞。アンソロジーの編集にも携わるなど、言葉の世界を広げ続けている。2回目の参加。



言葉と向き合う時間をいただけで、

言葉が出てこない長考中も実は幸せでした。

水沢 なお(みずさわ なお) / 詩人

静岡県生まれ。大学在学中から詩作を始め、第54回現代詩手帖賞受賞を機に注目を集める。第1詩集『美しいからだ』で中原中也賞受賞。第2詩集『シー』、小説集『うみみたい』を刊行。2024年に『Forbes JAPAN 30 UNDER 30』の一人に選ばれる。2回目の参加。



多様なもの、異質なものがぶつかり合い、

豊かな詩が生まれた。

野村 喜和夫(のむら きわお) / 詩人

『風の配分』で高見順賞、『ニューインスピレーション』で現代詩花椿賞ほか受賞多数。戦後世代を代表する現代詩人の一人として最先端を走り続ける。著書・評論も幅広く、2009年より創作の場をまとめるさびき手を担っている。20回目の参加。



言葉の解像度が高い人たちと前提を共有して

語り合い、刺激的だった。

環ROY(たまき ろい) / ラッパー

宮城県生まれ。これまでに6枚のアルバムを発表するほか、パフォーマンス作品『ありか』の上演や、絵本『よなかのこうえん』、TV番組『デザインあneo』への参画など、言葉と音を往還しながら新たな表現に挑み続ける。最新作は絵本『ようようしょうてんが』。初参加。

連詩とは、複数人で短い詩をリレーのように連ねていく創作現代詩。連歌・連句の美学を下敷きに、三島市出身の詩人・大岡信を中心に始まりました。大岡信が提唱した「しずおか連詩の会」は、1999年より開催しています。

連詩の会を終えて

26回目の今回は、詩人・小説家・ラッパーが参加し、ジェネレーション、ジャンル、ジェンダーの三層が絶妙に交錯。多様性が生み出すスリリングな言語空間はいつそう鮮明となり、しずおか連詩の会は新たな段階へ踏み出しました。

「野の地図の透明な縁」の巻 40詩全編と解説の一部をご紹介します

【第一番〜第五番の解説】

晴美：第一番は前の人がいないぶん自由度があるので工夫したいと思いました。五行の行頭に五人の頭文字を置いて、「挨拶のような入り口にしました。五人それぞれが宝物のような言葉を探し当て、まだ存在していない地図が描かれていけば、と願いを込めています。」

時間軸で戻し、遺体を腑分けするような視点にしたんです。静岡市がプラモデルの街だと知り、組み立て前の状態に戻っていくという話にしました。「野」「山」「海」と自然を想起する言葉が続いたので人工物にしようとして「人工芝」に。

【第七番の解説】

環ROY：第一番の詩を読んで、物語のプロローグ的に解釈しました。初日、グランシップ12階にある創作部屋に向かうエレベーターの窓から山肌の造成地が見えて、「何だろうね」と五人で話していたんです。最初に皆が共有したその眺めを、「始まり、始まり」という気持ちで書きました。

なお：「造成地」から想像が広がり、架空の建物を立てて「鍵のない窓」を描きました。12階の窓から水平線が見えたので「海」。創作中に名前の話題になり、ペンネーム「水沢なお」は自分で名付けたのだから、自分なりの覚悟や決意があったのだと改めて感じました。海は元々自分にとって特別なものでしたが、今回の詩作でさらに特別に見えて、それは詩のおかげだと思いました。

環ROY：第五番が終わって皆で蕎麦屋へ行ったんです。川口さんと水沢さんがアニメの話で大盛り上がり。創作部屋に戻ってきた川口さんの第六番では、「ワサビを摺る様子が、歩いている動物(アニメ)の足のようだ」と詠まれました。そこから「アニメ」「アニメ」とつながりました。そろそろ遊びたいなと思って「探偵」「はんぺん」「おでん」と響きでつながりました。

喜和夫：「おでんにはんぺん」が出てきたとき、俳諧を感じましたね。雅な連歌ではなく、俗語でつないでいく俳諧の伝統を、ラッパーの環さんが呼び覚ました瞬間でした。

喜和夫：「おでんにはんぺん」が出てきたとき、俳諧を感じましたね。雅な連歌ではなく、俗語でつないでいく俳諧の伝統を、ラッパーの環さんが呼び覚ました瞬間でした。

【第九番〜第十番の解説】

喜和夫：第八番で、水沢さんが双子の自立をやさしく描いたのに、「第三の性」を描くという方向へ走ってしまいました。いわゆる連詩の「裏切り」です。連詩は言葉遊びでもあるので、五行の中に数字を四つ入れていきます。

智幸：野村さんはいつかエロティックな詩を入れてくるだろうと想定していました。思ったより登場が早かった(笑)。僕の前に来たら、絶対に流れを止めてやると思っていました。まず「肛門」から連想し排泄物にしましたが、微生物が含まれているので、まだ「生

行詩ですが、散文の形式です。これがすごく斬新で、連詩への挑戦のような気がしましたね。そこで、逆に「現代詩らしい五行」へ戻してみました。環さんが「脳」を出していたので、ノーム・チョムスキーの「普遍文法」の批判として、科学記事の実験を詩にしました。晴美：私の前で昼食に差しかかるタイミングでしたが、宿題を抱えるのが苦手で、四十分三十秒で書き上げました。脳のイメージから頭蓋骨が開くことを連想し、昨夜食べたウナギ弁当の蓋をバカッと開けた感覚が、オールドの蓋を開ける感覚と重なって、「反撃のバレー」につながりました。

晴美：創作二日目、広報用の写真撮影を兼ねて清水区のエスパルストリームプラザで昼食をとり、そこで見た観覧車が第十八番の「未来派」や「滑空」のイメージとつながりました。撮影中は日差しが強く、風で水沢さんの前髪が舞い上がる場面もあり、その時の光景を二行目に重ねています。

なお：川口さんの最速記録の後に、今回の創作の最長記録を叩き出してしまいました。夕焼けの光を見ながら「夕焼け小焼け」が聞こえてくる気がして、子どもっぽい感覚・口調で書きました。追い込まれたとき、私を助けてくれるのは詩だ、と思って書いた、詩へのラブレターです。

【第二十一番の解説】

なお：歯並びが乱れた状態を「叢生(そうせい)」と言うそうで、草むら意味する漢字を使います。文字の並びを一段ずつ下げて、視覚的にも歯並びを表現し、詩そのものを「見せる」形にしました。

【第三十六番〜第四十番の解説】

なお：詩を書くきっかけとなった寺山修司の『花粉航海』から「花粉まみれの舟」をイメージして、グランシップという舟の名前にも重ねました。進んで行く舟のイメージを、膨らんでいく舟の帆に例え、これからも言葉を生み出していくという気持ちを込めています。

晴美：手書き原稿の「消す・重ねる」行為を見ていて、考えを塗り替えていく私たちの日々をイメージしました。環さんからラップの「ツ」を教わっていたので、「覆って」「残って」「重なって」とリズムを捕まえて、水沢さんの「舟」に込めるかたちで「權」を付けました。

【第十九番の解説】

晴美：創作二日目、広報用の写真撮影を兼ねて清水区のエスパルストリームプラザで昼食をとり、そこで見た観覧車が第十八番の「未来派」や「滑空」のイメージとつながりました。撮影中は日差しが強く、風で水沢さんの前髪が舞い上がる場面もあり、その時の光景を二行目に重ねています。

【第二十七番の解説】

智幸：かなり時間が押していたので、早く書くためには小説家としての自分の領域である散文がいいと思い、小説のように書きました。水沢さんの「半身」のイメージを現代のジェンダーの意識に置き換えて、男女の二分法ではない関係性を詠みました。

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

喜和夫：第二十七番、第二十八番は五行三

【第二十九番〜第三十一番の解説】

一 ほどかれゆく十一月の空に
 たからものの透明な緑たどるそれぞれの指
 見つけたておしゃべりになる雫でんと
 野の地図はどこからだろうかもう始まって
 彼方までの約束を囁いている
 晴美

二 いつからか物語の中で話すこと
 忘れることあたりまえに
 削られた山肌 新しい造成地
 環ROY

三 鍵のない窓
 つややかな水平線を切分けて
 フォークで交換する
 わたしの名前をつけた日から
 海は本当に海になった
 なお

四 箸で骨を拾う奇習
 のなかにいてそれを不思議とも思わない
 あたりに共同体という謎のククーンがありそうだ
 喜和夫

五 毛皮を開いてからだを削いで
 パーツパーツを枠にくくりつけ
 プラモな姿に戻りたい
 人狼はもの狂おしく
 人工芝のピッチを駆けめぐる
 智幸

六 打ち寄せる翠を削ってぐちにしたら
 どんな味がするの？
 狼爪は遠い漣を編んでいた
 晴美

七 アニマがひとつアニマがふたつ
 いったりきたり車輪が運ぶ
 静かな無数の断片を
 虫眼鏡で温めてる探偵
 はんべんはおでんおでんにはんべん
 環ROY

八 同じ服を着ているのに
 同じことで笑わないの 殻は砂粒まみれ
 もう解らないと
 なお

九 私はふたりゐて ひとりが近傍に穴を掘ると
 もうひとりが その穴にひたたに口唇を寄せ
 わけのわからない歌を歌ふ 穴は次第に悩ましく
 臆でも肛門でもない 第三の穴へと喜びうねる
 という夢から覚めて まだ午前の四時だ
 喜和夫

十 地球からはみ出したうんち
 有機物であることをやめる鉱物
 虚空を一つ漂うだけの恍惚
 智幸

十一 覚えているよ死は電流のようなものだったし
 ほのぼのと愛の残余のふぶくともあり
 百年後のわたくしの霊のまわりを
 犬と少年とアマテラス粒子と
 飛ぶわ飛ぶわ
 喜和夫

十二 貸切の膜に投影される
 オーロラのはらわた
 空っぽの痛覚 絆創膏はいらない
 なお

十三 パルタン星人青緑
 毛細血管横歩き
 かき分けて進んでるつもりが流されて
 ただけだった 振り返る
 水分と電解質、補給してください
 環ROY

十四 翻る手のひらのリズム追って
 いるうちに廊下の壁はゆるい勾配でわたしたちの
 傾く身体を過度の果物屋へ押しやる
 晴美

十五 誰もいないエレベーターには誰もいる
 音のない楽を隻耳の花が奏でる
 騒がしい手話
 から逃れて庭に迷うも
 危機をもたらす者も不在
 智幸

十六 薄明やうやく微丘を覆ひ
 肉片秘めやかに薄明を泳ぐ
 微丘すなはち恐怖を産まざるや
 喜和夫

十七 通学路が虹色に滲んでいる
 かつて海藻だったガソリンが
 水たまりのなかに胞子を放つ
 それを光の受容器に注いで
 どこまでもいけるよ
 なお

十八 恙つつが無く強かに滑空
 一世紀前の未来派の気持ちいまだ少しわかるよ
 千の日差しが見つめる光景
 環ROY

十九 午後の汀に観覧車はまわる
 眩しい風を前髪にからませたまま
 走り出す娘の跳ねあがる踵
 深く数えることをあきらめる夜の
 輝かしい孤独の掘削よ
 晴美

二十 羽毛のように揺れて着地する赤葉黄葉紫葉
 夕暮れにいちごハウスの灯は点り
 無数の私がサルサを踊る
 智幸

二十一 旗を振る駅員に 白菌を撫でられて鰐になった
 そう いま われわれが立っているのは
 脱皮した尾を燃やすための場所だったんですよ
 荒れたくさむらの上を ワイヤーが通る
 菌茎から異動を命じられる
 なお

二十二 顎足つきでビネスクラスに初めて乗ると
 永遠にさまよう退屈
 羽ばたく草に進化した
 智幸

二十三 生きてるなかで遺伝子情報は変わるって
 知ってる？まじで、
 エビゲノムっていうらしい。
 牧場に転送なんて後付けだし、
 玉の中に閉じこめてたくせに。
 環ROY

二十四 だから塊をなした魂が泥濘ぬまにころがっている、
 まるまっただ奴、でこぼこな奴、ねじれた奴、
 字が似ているだけじゃない、魂とは塊である、
 喜和夫

二十五 銀のスプーンのくぼみに掬いとる
 薄あおい薄あまいゼリーはゆるるる
 テトラポッドのすきまにいたの
 喉の奥でふるふる
 生えてきた鱗がむず痒くて笑ってる
 晴美

二十六 失なわれた対岸から 投げ込まれた燃える矢じり
 生焼けの半身
 蹄をさらう あまりにもさわやかな風
 なお

二十七 ずっと男だと思っていた。それが男ではなかったと知った
 とき、すでに43%は男になりかけていた。男だと思わな
 ければよかったと後悔したけれど、手遅れだった。残り57%
 で生きることにした。それは飛べない水鳥、地を舞う雫、
 咲かない海百合、食べられる柘榴石の混ざったものだった。
 智幸

二十八 俺の脳は怠けていた。そもそいつも怠けている。思い込んで、先へ進
 む。先なのか後なのか、下なのか上なのか、あるいは横なのか。思い込
 まなければ動くことさえできない。命を奪う時は食べる時だけにしろ。
 環ROY

二十九 左のこめかみの奥だ、
 普通文法が働くのは、と唆かされて、
 あわわ、そこをタップしつづけると、ほんとうだ、
 私は一筆書きの燕が飛び立つ、
 私は一筆書きの燕が飛び立つ、
 喜和夫

三十 蓋をあけるなら用心しろよ
 あげものや米粒の類いではなく
 反撃のパレリーナがハイキックするぞ
 晴美

三十一 詩とおしゃべりしてみた
 人間としかできないことをいっばいしたい
 手をつなぎながら やわらかい毛布のうえでねむりたい
 近所の公園でおいかけっこがしたい
 素通しの影を踏み抜いて 詩になつてしまいたい
 なお

三十二 気をつけてね 鼻血がでちゃうよ 螺旋階段が
 遙かへ伸びて 明日は晴れるでしょう
 とこころよって硝子の破片が降るでしょう
 晴美

三十三 霧の深みへ層々とつづく街また街
 無限エスカレーターがそれらを連結して
 のぼつてものぼつても
 両側には暗いバーや欠けた顔貌の尽きてしまうことがない
 教えてくれここはもう煉獄なのか
 喜和夫

三十四 気休めの盆踊りインザ競売祭り
 一体だろうが八百体だろうが意に介すことはない
 浅ましさは解釈をまかされたものの宿命
 環ROY

三十五 パレードが終わり
 つけまつ毛を外し 唇も外し
 風呂敷包みも着替えると
 ガラのないミツバチは
 アジトに帰宅して
 智幸

三十六 花粉まみれのまま進む舟
 帆は臨月のように
 ふくらんで
 なお

三十七 月影で今日のすべてを覆って
 上書きしたって消した痕は残って
 重なって安いガーゼみたい傷口に
 触れる 床を磨いたら立ち上がる
 権が芽吹けばどこへでも行く
 晴美

三十八 そして果てまで来たとしよう
 崖が崖自身をこぼしているのがみえるはずだ
 それがきみの究極の文字列だよ
 喜和夫

三十九 終わるの？
 ほんとうは別に終わらないのに。
 真の終わりはきつと唐突。準備もなにもあったもんじゃない。
 二足歩行する猿の限界。
 どうせ誰にも怒られないんだけど。
 環ROY

四十 冗談じゃないよ！置いてかないで
 半島から流されていく小島
 で好きな過日を食べる
 智幸

創作 2025年11月6日(木)～11月8日(土)グランシップ 発表会 2025年11月9日(日)グランシップ

2025年しずおか連詩の会 創作現場&発表会 潜入レポート



発表会は冷たい雨にもかかわらず、開場前から多くの来場者が訪れました。詩人による40詩の朗読では、ことばに耳を澄ませる静かな気配に包まれ、解説では思いがけない創作秘話の数々に会場が沸きました。環ROYさんをきっかけに初来場した方は「背景が分かり楽しめた。詩を身近に感じたと笑顔に。直筆詩の展示にも長い列ができました。」



創作2日目は第十二番から詩作が始まり、第十六番を終えてランチタイムに、エスバルドリームプラザで撮影も兼ねてリフレッシュし、その景色が第十九番に見事に反映されています。写真は、詩が完成したあと、皆でディスプレインしている様子。海や風、躍動感のあるイメージに「CM映像のよう」「爽やか」と盛り上がっていました。



喜和夫：「権が芽吹けばどこへでも行く」から、人生の果てのイメージへ。「崖」を覗き込み、こぼれ落ちる土砂を言葉の列に重ねて書きました。

環ROY：第三十九番は一番難しいと聞いていて、気が重いまま書き始め、その気持ちをそのまま詩にしました。拳句(最終詩)を担当する星野さんと過去作品を読み返しなが、壮大な大団円に向かう傾向にあることを確認して「同じ方向に行ったら負けだよね」と作戦会議をしまして(笑)。予定調和の罫にはまらず書き終え、そのまま星野さんにパスしました。

智幸：目の前の席の詩人たちが終わり、自分だけ取り残されているような気持ちから「半島から流される小島」環さんが「どうせ誰にも怒られないんだけどね」と書いたので「冗談じゃないよ！」と追いかける一行目にしました。小島に住んでいる「猿」が好きな果実を食べている。「過日」とすることで三日間の余韻も重ねてみました。

「能楽堂ではできない、グランシップでしかできない舞台」をコンセプトに、グランシップと共に挑戦的な能公演や次世代へのアプローチに取り組んできた宝生流宗家・宝生和英さんと、大倉流宗家で人間国宝の大倉源次郎さん。3月14日の「グランシップ静岡能〜雛の宴〜」を聞ききました。

「最大瞬間風速」を舞台に刻む。 その更新こそ継承になる。

宝生流第二十代宗家 宝生和英

「宗家は、毎回さまざまなテーマで「グランシップ静岡能」を展開してこられました。その切り口や仕掛けを考えると、何を大事にしてきましたか。」
宝生 前提として、能楽は本来、能楽堂で観るものです。では、グランシップで能楽を観る必要があるのか。そこがスタートでした。だとすれば、グランシップでしか観られない舞台をお見せしなくてはならない。グランシップの皆さんと話し合いながら、ホールの特徴や舞台スタッフの技術力、静岡という土地の魅力を生かし、能楽堂ではできない試みを大事にできました。

「なぜ今それを上演するのか」という視点も大切にしている印象があります。」
宝生 これは持論ですが、伝統は結果論だと思っています。その時代に必要とされたものが結果として残ったということ。だから、残そうと思って動いたことは一度もありません。現代の人たちに対して能楽で貢献できること、その「最大瞬間風速」を意識して動いています。知らない過去よりも、自分が知っている「今」を重視して企画を組んでいますね。

「「グランシップ静岡能」で特に印象に残っている公演はありますか。」
宝生 幾つかありますが、徳川家康公顕彰四百年の年に上演した「八島」です。家康公の150年忌、200年忌に江戸城で演能されたことにちなみ、江戸城の囃面を舞台に吊った紗幕に映し、幕が下りて舞台が立ち上がり当時の江戸城にタイムスリップするような仕掛けにしました。グランシップ精鋭の舞台スタッフが丸となって準備してくださり、「グランシップ静岡能」のブランディングにもつながったと感じています。

能楽は、自分だけの気づきを 見つけた瞬間が面白い。

大倉流小鼓方十六世宗家／人間国宝 大倉源次郎

「能楽鑑賞も似ていて、気づきを見つけた瞬間が面白い。世阿弥の「秘すれば花(※)」に通じますね。」

「3月14日の「グランシップ静岡能〜雛の宴〜」の見どころはどこですか。」
大倉 「雛の宴」はこれまで、五人囃子の演奏で、華やかにひなまつりをお祝いする演奏会でしたが、今回は舞が加わり完全な能楽となりますので、音楽(五人囃子)と舞との一体感に注目していただきたいと思います。曲目は「西王母」。桃の節句にふさわしい曲です。五人囃子の解説や囃子体験など、一歩踏み込んで感じていただける企画も用意しています。

「宗家からも「西王母」の魅力をお願いします。」
宝生 僕は人間をテーマにした曲が好きで、神仏の力にまつわることが合主義の曲は好みではないんです。ただ、それをどう面白くするかに惹かれます。今回の魅力は世界観。西王母をキャラクターとしてどう見せるか。中国では荒神説もある。優しい女神像だけでなく、鬼子母神の要素も重ねること、生きた存在として立ち上げたいですね。

「今回は、ご子息の寶生知永さんが子方として出演されます。」

「近年、幅広い分野で活躍されていますが、感概よりは緊張ですね(笑)。でも、お客さまが親子共演を楽しんでくださるなら嬉しいです。」

「お二人の話を聞くと、能楽が身近に感じられます。」
大倉 身近に感じていただけたなら良かった。能楽が面白いのは、能面と装束が魂を解放する仕掛けになっていることです。例えばミュージカル「美女と野獣」は、ベル役と野獣役の俳優の入れ替えができませんが、能楽師は能面と装束さえ替えれば、役を変えられます。それは、心を演じる芝居だから。だからこそ、エネルギーを自分のものにしていく舞台は面白いのです。

「異分野での経験は、役作りでの「憑依」にも役立ちますか。」
宝生 彼は「憑依」ではなく器型という器に自分の個を流し込み、押し込んであふれでたものが本場の「花」だと思います。そこが能楽師の魅力です。単に型をなぞるだけでは継承ではなく、劣化コピー。大切なのは、内からどんな「花」が溢れるか。自分の最大瞬間風速を舞台に刻めば、次世代が挑み、更新していく。その歴史の積み重ねこそが、700年に渡り能楽をつないできたのだと思います。

「大倉先生は長年、静岡大学教育学部の学生たちに、体験型の能楽を指導されてきました。」
大倉 教育現場では、「勉強としての能楽」を教えようとするばかり、面白さも押し付けられてしまいがちです。すると子どもたちは、勉強を通してしか能楽を見られなくなる。体験型の能楽講座が各地の学校で行われていますが、実際に能楽を観て、自分なりの面白さを理解して、子どもたちに体験させられる教師は不足しています。ですから「知識よりもまず感じてみよう」と学生たちに伝えています。



グランシップ静岡能〜雛の宴〜 3/14(土) 14:00〜 ■中ホール・大地 ■一般5,800円 子ども・学生1,000円

Genjiro Okura

大倉源次郎 大倉流小鼓方十六世宗家・人間国宝

1957年大阪生まれ。父・十五世大倉長十郎に師事し、1965年「鮎之段」で初舞台。1985年に大倉流小鼓方十六世宗家を継承。新作曲・復曲能にも数多く参加し、能楽DVD「大和奏曲抄」「五体風体」を制作。大阪市咲くやこの花賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。2017年、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。(公社)能楽協会理事、「能楽座」座員。



Kazufusa Hosho

宝生和英 宝生流第二十代宗家

1986年東京生まれ。1991年「西王母」子方で初舞台。2008年に宝生流第二十代宗家を継承。「鷲」「乱」「道成寺」ほか、一子相伝曲を抜く。朗詠を取り入れた新たな能公演「夜能」や、Disney+「SHOGUN将軍」、少年サンデー「シテの花」監修など活動は多彩。2026年には東京国立博物館「百万石」加賀前田家展関連の能公演にも出演予定。2023年度ミラノ大学客員教授。



伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。 岩下尚史



能を見ながら、ところどころと眠りの深みに落ち沈むのは、ちんぷんかんぷんだからであるつと云うのは、さア、どうでしょうか。

手におさまりをつけて居ます。もし、私が結構な御能を前に瞼を閉じて居たならば、何百年に亘って長く練られて来た能楽の仙術が疲弊した魂を鎮めて居るのだなど、留拍子の響くまで、どうか揺り起こさぬように願います。

取り上げられました。それが海を越え、本邦へも渡来した遺物が、現在の脇能にも伝承され、その和漢の境を紛らす幽雅婉曲の芸は不老不死にて、今の令和の世にも健在であります。

じつさい私なども、番組中の見どころ、聴きどころに掛かると、ゆらりゆらり、我が家の寝台に臥すよりも心地の好いところへ誘われる時の、何とも云えぬ心地よさを知っています。

現存する日本最古の医書『医心方』に「西王母四童散方」と見えるのは、若返りの薬名であるそうである。

何年か前に、宝生和英さんとグランシップの壇上で対談した折に、能は魂を鎮めるものであると、端正な姿勢で発言なさるのを聞いたことがあります。

逆に感心しない芸に退屈する時は、頭の中が目の前の舞台を無視するらしく、あれやこれやの雑念が忙しく交差するので、安眠するどころではありません。

大陸の西極なる神山に在り、人面ながら虎歯と豹尾とを生やす中国古代の女神たる西王母は、やがて道教に取り込まれ、不老不死の仙薬を持つ女仙として崇敬を集めるようになったと伝わります。

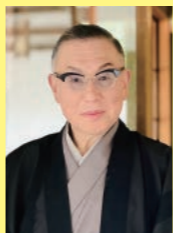
鎮魂と書く、亡き魂を慰める意とはかり思う人がありますが、魂が身から離れるのを防ぐ「タマシズメ」と、外から威力ある魂を身に付ける「タマフリ」との両義があるのです。

これを素人考えに考えれば、円満な演奏であればあるほど、見る者の呼吸を整え、心拍を鎮めて血のめぐりを良くし、いわゆる交感神経を平衡に保つため、忘我遊神の境に入らしめるのではないかと、勝

大衆の間にひろく信仰が普及するにつれ、三千年に一度花が咲き、実を結ぶ長寿の仙桃を持つと云う、艶麗な印象を帯びるようになり、絵画はもちろんな戯曲や小説に

芸能の本義も、古来、之にあるわけで、知識を増やそうとか、教養で身を飾るうなど目論みでは、魂が捻じ枯れるようでは不可ません。

vol.44 アンチエイジングの仙薬



TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史(いわしたひさふみ)……作家、國學院大学客員教授、新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊『美しいキモノ』(ハースト婦人画報社)にてエッセイを連載中。また、現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。



伊東裕 水野優也 上野通明 横坂源

チェロ・カルテット

横坂源／上野通明／水野優也／伊東裕

国内外で活躍する精鋭たちの夢の共演 チェロが描く多彩な景色をお楽しみに

「人の声に最も近い楽器」と言われ、深く柔らかな響きで聴く人を強く惹きつけるチェロ。数々のコンクールで受賞歴を持つ若手チェロ奏者4名が、グランシップで一日限りのカルテットを結成。チェロならではの芳醇な音色をたっぷりとお届けします。

また、2024年にNHK交響楽団との初共演でソリストをつとめた上野通明さんが、ストラディヴァリウスのチェロを携えて、再びグランシップのステージに登場。2025年第76回プラハの春国際音楽コンクール・チェロ部門優勝の水野優也さん、葵トリオや東京都交響楽団の首席チェロ奏者としても活躍中の伊東裕さんも加わり、躍進著しい4人が奏でるのは、パツハやワグナー、ガーシュイン、ピアソラ、坂本龍一など、古典から近現代までをめぐる多彩なプログラム。チェロの音色に導かれ、時代も国も超え、一曲ごとにさまざまな風景を見せてくれる、そんな豊かな時間を過ごしていただける演奏会です。

新潟県出身で、現在は静岡県内に暮らす横坂源さんは、13歳の時に東京交響楽団との共演でソリストデビュー。その後、ドイツの国立音楽大学で学び、高度なテクニックと曲への深い解釈で協奏曲から現代曲まで幅広く演奏する実力派です。グランシップとは、2021年の出前公演(三島市)でのオーケストラ・アンサンブル金沢との共演、2023年「本と音楽の素敵な出会い」ラブラ力は静かに弓を持つ」の出演に続き、今回で3回目のご縁。さまざまなスタイルの演奏会において、確かな演奏力で存在感を強く印象付けました。

チェロに魅せられた4人の音が重なり、生まれる。その時だけの演奏をぜひ会場でお楽しみください。

チェロ・カルテット 横坂源／上野通明／水野優也／伊東裕

2/11(水・祝) 15:00～ ■中ホール・大地 ■一般5,000円、子ども・学生1,000円(28歳以下の学生)

♪ジョンゲン:2つの小品 ♪ワーグナー:荘厳なる曲(歌劇『ローエングリン』より エルザの大聖堂への入場)
♪J.S.バッハ(ヴァルガ編):シャコンヌ ♪坂本龍一:energy flow ♪ピアソラ(小林幸太郎 編):天使の死、
アディオス・ノニーノ、悪魔のロマンス ♪ガーシュイン(アーミテージ編):ポートレート 他 ※曲目は変更になる場合がございます。

最新情報は
こちらから



チェロって、実は“人間っぽい”

チェロが“人の声に近い”と言われるのは、音域が低音から高音まで広く、特に中音域で声に近い音色を奏でられるからです。息づかいのような弱音から語りかける歌心、力強い音まで表現でき、奏者の動きで揺らぎも生まれます。声のように感情が伝わる楽器なのです。



グランシップホームページ
イベントカレンダーTOPへ

2025年12月の情報です。内容等変更となる場合があります。グランシップ企画事業の公演・イベントへご来場の際には、必ずグランシップホームページで最新情報をご確認ください。
なお、貸館催事につきましては、各主催者にお問い合わせください。

1/9 [金] **グランシップ企画事業**

音楽

静岡ガスグループ Presents **グランシップ&静響ニューイヤーコンサート Vol.24**

■中ホール・大地 ■昼の部14:00～/夜の部18:30～ ■2,000円

※事前申込は終了。期日までに手続きが完了されない席を12/7(日)から一般販売。先着順(1人4枚迄、座席は選べません。)*※予定枚数に達し次第、販売終了。

富士山静岡交響楽団が首席指揮者・高関健とともに、メディアでも活躍中のヴァイオリニスト・木嶋真優を迎え、新春の華やかなコンサートをお届けします。

〈曲目〉

ウェーバー: 歌劇「魔弾の射手」序曲
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 op.26
スッペ: 喜劇「軽騎兵」序曲
J.シュトラウス2世: 皇帝円舞曲 op.437 ほか
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



高関 健(指揮)



木嶋真優(ヴァイオリン)



富士山静岡交響楽団(管弦楽)

1/28 [水] **展示**

令和7年度
第38回静岡県中部高等学校
定時制通信制生徒合同文化祭
■6階展示ギャラリー1 ■13:00～19:30
静岡県中部高等学校定時制通信制生徒
合同文化祭実行委員会事務局
tel.054-267-1144 (科学技術高校定時制)

1/23 [金]～26 [月] **展示**

令和7年度静岡県高等学校
総合文化祭特別支援学校専門部
第36回特別支援学校高等部
合同作品展
■6階展示ギャラリー1 他
■10:00～17:00(最終日は～12:00)
静岡県高等学校文化連盟 特別支援学校専門部
tel.0548-23-9871 (事務局: 吉田特別支援学校)

1/9 [金]～11 [日] **展示**

キャプテンサンタ静岡フェア
■6階展示ギャラリー3
■9日14:00～19:00 10日10:00～19:00
11日10:00～17:00
(有)シスターズ(BLUE DROPS) tel.0266-58-9770

1/31 [±] **舞台**

Dance Exhibition 2026 in Shizuoka
■中ホール・大地 ■13:00～15:50
■前売券大人2,000円 前売券学生1,000円
当日券大人2,500円 当日券学生1,500円
(株)LINKFOR tel.050-3395-7188

1/24 [±] **音楽**

レコードコンサートATグランシップ
■2階映像ホール ■13:30～17:00
前田幹夫 record.cd.concert@gmail.com

1/10 [±] **その他**

第14回静岡県看護学会
■11階会議ホール・風 ■9:50～16:30
■当日会員6,380円 非会員12,760円
静岡県看護協会 tel.054-202-1760

2/1 [日] **イベント**

第2回 能登半島災害チャリティー
■中ホール・大地 ■13:00～16:00
■500円
静岡和太鼓連合 tel.090-3858-9710

1/24 [±] **講演会**

小児・AYA世代がん医療公開講座
■会議ホール・風 ■14:00～16:00
静岡県立こども病院
tel.054-247-6251 (内線659)

1/11 [日] **イベント**

New Yearダンスフェスティバル
■6階交流ホール ■13:30～16:30
静岡市ダンススポーツ連盟
tel.080-6909-3128

2/3 [火]・4 [水] **舞台**

トム・プロジェクト公演
「モンテルパ」
■中ホール・大地
■3日18:30～ 4日13:30～
NPO法人静岡市民劇場 tel.054-253-6839

1/24 [±]・25 [日] **展示**

ハタチの振袖レンタル販売予約会
■6階展示ギャラリー2 ■10:00～16:00
ジョイフル恵利静岡店 tel.0800-200-7537

1/12 [月・祝] **イベント**

SHIZUOKA TANKYU COLLECTION
(高校生のための高校生による高校生の探究イベント)
■11階会議ホール・風 ■10:30～16:00
NPO法人しずおか共育ネット
shizuokakyouiku@gmail.com

2/7 [±] **講演会**

静岡済生会総合病院
第4回市民公開講座
■10階1001-2会議室 ■14:00～16:00
企画・広報課 tel.054-285-6171 (代表)

1/25 [日] **その他**

エス・エス・ティ・ケイ ダンス発表会
■中ホール・大地 ■14:00～16:00
(有)エス・エス・ティ・ケイ sstkcoach@gmail.com

1/19 [月] **講演会**

しずおか焼津信用金庫
第123回新春経済講演会
■中ホール・大地 ■14:00～15:30
しずおか焼津信用金庫 業務統括部
新春経済講演会事務局 tel.054-247-1131



「静岡JAM2026」出演
ギタリスト・ソエジマトシキさん
インタビュー

静岡を拠点に、国内外でのライブ活動やYouTubeで世界へ音楽を発信し続けるソエジマトシキさん。アジアツアーを終えたばかりのソエジマさんに、『静岡JAM2026』に向けてお話を伺いました。

— 佐賀県で過ごした中学生の頃、自宅にあったギターを手に取ったことがきっかけで音楽を始め、上京後はギター講師をしながら音楽活動を続けられてきました。活動の転機となったのはYouTubeでの動画配信。今も動画には様々な国の方からコメントが寄せられていますね。

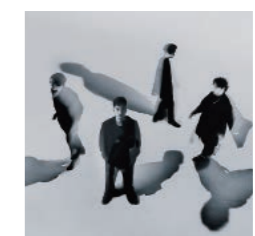
— 現在は静岡県在住のソエジマさん。首都圏ではなくあえて静岡で創作をすることの良さはどのようなところにありますか。

側を振り下げる時間」を保つのが難しくなる瞬間もあります。静岡だと、家の周りをふらっと散歩しているときに、本当に良い意味で「ひとりぼっち」になれるんですよ。身近にミュージシャン仲間がたくさんいるわけではないので、「今日あそこライブがあるな」とか「このあとジャム・セッションがあるな」といった情報に引張られることもなく、自分の創作だけに意識を向けられる。良い意味で、浦島太郎状態になれるような感覚があります。とはいえ、静岡には志の高い人たちがたくさんいて、そういう人が経営する飲食店に行くと話を聞いたりすると、音楽とはまた違った角度からすごく刺激をもらえるんです。最近では、東京などで活動するミュージシャン仲間が「静岡の空気を吸いに」うちに遊びに来てくれることも増えて、一緒にセッションしたり、夜には静岡おでんを食べながら語り合ったりしています。そういう時間も含めて、静岡での暮らしが自分の音楽を形づくる大事な要素になっています。

ら丁寧に積み重ねてきたチームだと思っています。トレントを追いかけるよりも、自分たちが心から良いと思えるサウンドやグルーヴだけを信じて続けてきた結果として、少しずつ日本や海外のリスナーにも届いてきた、という感覚が強いんです。「静岡JAM2026」では、そうやって時間をかけて育ててきた僕らのバンド・サウンドを、できるだけそのままの温度感で静岡のみなさんに届けたいと思っています。ステージ上では、僕らが普段から大事にしている空気感やダイナミクス、そして「これが自分たちの好きなサウンドです」と胸を張って言える音をそのまま鳴らします。で、ぜひライブでどんなふう感じてもらえたのか、終演後に感想なども教えていただけたら嬉しいです。

演奏動画やギター・レッスン、トークなども配信!ソエジマトシキさんのYouTubeチャンネルもぜひチェックを!

静岡JAM2026
～WONK/ソエジマトシキ～
2/23(月・祝) 17:00開演(16:30開場)
中ホール・大地
一般4,000円 子ども・学生1,000円(28歳以下の学生)



WONK
荒田洸(ドラム・リーダー)・長塚健斗(ボーカル)・井上幹(ベース)・江崎文武(キーボード)の4人によるエクスペリメンタル・ソウルバンド。2013年に結成し、これまで4枚のフルアルバムをリリース。国内の主要フェスから海外での公演など、広く活動を行う。海外アーティストとの交流も深く、世界とアジア、東京の音楽シーンを繋ぐハブ的存在。

2/28 [土] 音楽 グランシップ企画事業

**【グランシップ出前公演】
第2期グランシップ登録アーティスト Presents
キッズコンサート 音のおもちゃ箱 in 藤枝**

■藤枝市民会館 ■①未就学児向け11:00~12:00 ②小学生向け14:00~15:30
■一般1,000円 こども・学生(3歳~28歳以下)500円 ※2歳以下ひざ上鑑賞無料
県内の小学校・特別支援学校でアウトリーチ活動を行っているグランシップ登録アーティスト3組が藤枝市に登場。見て、聴いて、感じて、はじめての音楽に出会おう!
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



フィオリネ Flautie



フルートアンサンブルBouquet

3/14 [土] 音楽 本誌P8-P9のインタビューをチェック! 舞台

グランシップ静岡能~雛の宴~

■中ホール・大地 ■14:00~ ■一般5,800円 こども・学生1,000円

本格的な能楽をお楽しみいただける「グランシップ静岡能」。宝生流能楽師による桃の節句にちなんだ華やかな演目を上演します。

〈出演〉
宝生和英(宝生流第二十代宗家)
大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家
/重要無形文化財保持者)
三宅近成(和泉流狂言方) ほか

〈演目〉
能「西王母」
狂言「節分」

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000



能「西王母」

3/14 [土] 展示

フィットちゃんランドセル出張展示会

■6階展示ギャラリー1 ■10:30~16:00
(株)ラ・ボンテ tel.076-441-4566
(お問い合わせセカスターセンター)

3/14 [土] 音楽

レコードコンサートATグランシップ

■2階映像ホール ■13:30~17:00
前田幹夫 record.cd.concert@gmail.com

3/20 [金・祝]~22 [日] 展示 **第44回全国橘花書道展** ■6階展示ギャラリー ■9:30~16:30(最終日は~15:30)
※22(日)表彰式は6階交流ホール 橘書道会 tel.054-623-8825

3/21 [土] 音楽 グランシップ企画事業

**沼尻竜典指揮 読売日本交響楽団
辻井伸行×三浦文彰
「究極の協奏曲コンサート」**

■大ホール・海 ■15:00~
■SS席12,000円 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円
こども・学生1,000円(A・B席のみ) ※完売の券種もあります。

日本を代表するソリストの二人と、実力・人気ともに兼ね備えた読売日本交響楽団による、珠玉のコンチェルト!

〈曲目〉チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



辻井伸行(ピアノ)



三浦文彰(ヴァイオリン)

3/28 [土]・29 [日] 展示

ランドセルわくわくフェスティバル2026
■6階展示ギャラリー1
■28日13:00~16:00 29日9:30~15:30(予定)
シブヤ運営事務局 tel.06-6326-0300

3/29 [日] 舞台

リュミエル新体操演技発表会
■大ホール・海 ■14:30~17:00
リュミエル 長島祐三子 tel.090-3257-2600

3/27 [金]~29 [日] イベント

全日本ぎょうざ祭り in 静岡
■グランシップ広場 ■11:00~17:00
■大人(中学生以上)500円
全日本ぎょうざ祭り実行委員会
tel.052-728-0475

3/28 [土]・29 [日] 展示

ハタチの振袖レンタル販売予約会
■6階展示ギャラリー3 ■10:00~16:00
ジョイフル恵利静岡店 tel.0800-200-7537

3/26 [木] 就職

**~YourLife静岡エリア~
高校生のための合同企業説明会~**
■6階交流ホール 他 ■13:00~16:00
(株)YourLife tel.054-663-1100

3/27 [金] 音楽

**静岡東高校マンドリン部
第25回定期演奏会**
■中ホール・大地 ■18:00~20:00
■500円
静岡東高校マンドリン部 tel.054-261-6636

2/11 [水・祝] 音楽 本誌P11の詳細をチェック! グランシップ企画事業

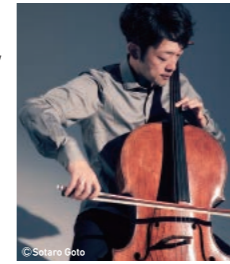
**チェロ・カルテット
横坂源/上野通明/
水野優也/伊東裕**

■中ホール・大地 ■15:00~
■一般5,000円 こども・学生1,000円

浜松と縁の深いチェリスト・横坂源が、上野通明ら若手チェリストを率いて一日限りのカルテットを結成。バラエティに富んだプログラムをお届けします。

〈曲目〉
ジョンゲン:2つの小品
J.S.バッハ(ヴァルガ編):シャコンヌ
ガーシュイン(アーミテージ編):
ポर्टレート 他

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000



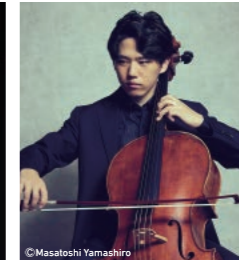
横坂源



上野通明



水野優也



伊東裕

2/7 [土] 音楽 グランシップ企画事業

**60th Anniversary Tour
森山良子
コンサート2026
~Life Is Beautiful~**

■中ホール・大地 ■15:00~
■一般7,800円 こども・学生1,000円

芸能生活60周年を迎えた森山良子がグランシップのステージに初登場!



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/14 [土] イベント

お茶博士 in 静岡市2026
■10階全室 ■12:30~(受付11:30~)
お茶博士 in 静岡市実行委員会 teaexert@gmail.com

2/13 [金]~15 [日] 展示

キモノハーツ静岡 振袖BIG展
■9階910会議室 ■10:00~19:00
キモノハーツ静岡 tel.054-266-3733

2/14 [土] 音楽 本誌P12のインタビューをチェック! 舞台 **完売**

グランシップ寄席 ~春風亭一朝・一之輔・梅朝~

■11階会議ホール・風 ■19:00~
■一般4,500円 こども・学生1,000円

江戸落語の本格派 春風亭一朝、今最もチケットの取れない落語家のひとりとされる春風亭一之輔、静岡市出身の春風亭梅朝による一門会。

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000



春風亭一朝



春風亭一之輔



春風亭梅朝(静岡市出身)

2/22 [日] イベント

ふじのくに芸術祭 春の祭典[2025授賞式・2026総合開会式]
■中ホール・大地 ■14:00~16:00
ふじのくに芸術祭事務局(静岡県文化政策課・静岡県文化協会) tel.054-221-3109

2/15 [日] その他

第16回 静岡RG新体操演技発表会
■中ホール・大地 ■13:30~16:00
静岡RG新体操クラブ shizuokarg@yahoo.co.jp

2/23 [月・祝] 音楽 本誌P12のインタビューをチェック! グランシップ企画事業

**静岡JAM2026
~WONK/ソエジマトシキ~**

■中ホール・大地 ■17:00~ ■一般4,000円 こども・学生1,000円
ジャズ、ソウル、ヒップホップを自由に解釈した幅広い音楽性で日本の音楽を再定義するエクスペリメンタル・ソウルバンド、WONKと、「ギターの神様」エリック・クラプトンが「注目する日本人ギタリスト」として名前を挙げたことで知られる静岡在住のギタリスト・ソエジマトシキが自身のバンドを率いて登場!
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



WONK



ソエジマトシキ

2/27 [金]~3/1 [日] イベント

おひもフェス SHIZUOKA(第5回)
■グランシップ広場 ■10:00~17:00 ■当日500円 前売450円
(株)nonii tel.054-395-7408

2/24 [火] 音楽

細川たかし・長山洋子~ふたりのビッグショー~
■中ホール・大地 ■18:00~19:50 ■PS席8,000円 SS席6,800円
(株)夢グループ tel.0570-064-724

<p>1/4[日]～3/31[火] 10:00～16:30(月～土) 絵になった猫展覧会 〈日本～世界の猫の人形、絵 大集合〉 日本人形博物館・日本招き猫館 大人600円、学生200円、小中学生100円 【問】日本人形博物館 tel.054-252-3356</p> 	<p>開催中～5/24[日] 10:00～17:30(最終入場17:00) サクラ×さくら 一山・里・海を彩る「和」の魅惑― ふじのくに地球環境史ミュージアム 一般300円、学生(大学生以下)・70歳以上・ 障害者手帳等をお持ちの方無料 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111</p>	<p>冬は湯気が主役です 伊豆は火山地形ならではの温泉地。熱海や伊東、伊豆長岡、修善寺など各地で高温の湯が湧きます。冬は外気との温度差で湯けむりが特に白く際立ち、路地や旅館の屋根から立つ湯気が景観として親しまれています。</p>
<p>1/10[土]～3/22[日] 9:00～16:30 冬季企画展 駿河国分寺展 静岡市立登呂博物館 一般300円、高大生200円、小中学生50円 静岡市在住の70歳以上・小中学生(通学含)・ 未就学児無料 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476</p>	<p>2025.12/16[火]～3/22[日] 9:00～17:00(最終入場16:30) 収蔵品展 「海野光弘 僕と版画日記一版画家の文章」 島田市博物館分館 本館・分館共通券:一般(高校生以上)300円 団体(20人以上)240円、中学生以下無料 障害者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料 【問】島田市博物館分館 tel.0547-34-3216</p>	<p>3/14[土] 15:00～ 手寫葵 CONCERT 2026 沼津市民文化センター 8,000円 ※学生席はチケットぴあのみ取扱い 【問】サモンプロモーション tel.06-6225-2237(平日10:00～18:00)</p>
<p>1/10[土]～3/22[日] 9:00～17:00(最終入場16:30) 収蔵品展 「中世の島田 一千変万化の時代」 島田市博物館 本館・分館共通券:一般(高校生以上)300円 団体(20人以上)240円、中学生以下無料 障害者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料 【問】島田市博物館 tel.0547-37-1000</p>	<p>2025.12/20[土]～2/1[日] 10:00～17:00(最終入場16:30) ※休館日はマリナートHPをご覧ください 田中達也展 みたてのくみたて MINIATURE LIFE・MITATE MIND 静岡市清水文化会館マリナート 一般1,100円(1,300円)、中高生800円(1,000円)、 小学生500円(700円)、グッズ付き一般前売券1,600円、 未就学児無料 ※()内は当日料金 ※障害者手帳、療育手帳をご提示された方は無料 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>3/20[金・祝] 14:00～ 田中彩子 ソプラノ・リサイタル 伊東市観光会館 4,000円 【問】伊東市振興公社 tel.0557-37-7135</p>
<p>1/10[土]～3/22[日] 10:00～19:00(最終入場18:30) 「日本中の子どもたちを 笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」 静岡市美術館 一般1,300円、高大生・70歳以上900円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515</p>	<p>1/4[日]～3/15[日] 9:00～16:30 語り合う布たち 芹沢銈介が集めた世界の染織 静岡市立芹沢銈介美術館 一般420円、高大生260円、小中学生100円 静岡市在住の70歳以上の方・小中学生(通学含)、 未就学児無料 障害者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料 【問】静岡市立芹沢銈介美術館 tel.054-282-5522</p>	<p>3/20[金・祝] 16:00～ 八神純子 キミの街へ 2026 ～Share the moment with you～ 御殿場市民会館 大ホール 7,000円 【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000</p>
<p>1/17[土] 14:00～ 宮田大×LEO デュオ・リサイタル 静岡市清水文化会館マリナート 4,500円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>1/4[日]～12[月・祝] 10:00～17:00(最終入場16:30) Love Art Peace ～きらめく立体切り絵とアートGETA～ 駿府博物館 高校生以上800円 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216</p>	<p>中部 for Central</p>
<p>1/17[土] 15:00～ AOI・レジデンス・クワルテット 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>馬が刻んだ藤枝ヒストリー 2026年の干支は午。藤枝市には、家康が馬に乗ったまま湧水を飲んだという「馬上の清水」があります。東海道道の宿場として馬を扱う問屋場が置かれ、浮世絵にも描かれました。藤枝と馬との縁が今も息づいています。</p>	<p>開催中～4/19[日] 9:00～17:00 焼津/YAIDZU、心の避暑地 一八雲と家族の夏日記 焼津小泉八雲記念館 無料 【問】焼津小泉八雲記念館 tel.054-620-0022</p>

<p>2/11[水・祝] 15:00～ ミラクルひかる&ほいけんた 爆笑ものまねライブ in 沼津 沼津市民文化センター 4,800円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>1/15[木]～3/24[火] 9:00～17:00 スペイン・カタルーニャの生んだ 天才画家たち ピカソ・ミロ・ダリ 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211</p> 	<p>新春は東へ西へ。 文化・芸術の旅で 新たな魅力を発見!</p> <p>1月～3月のイベント情報</p>
<p>2/13[金] 19:00～ レクチャーコンサート2026 ～クラシック名曲の花束～ 富士市文化会館ロゼシアター 3,000円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500</p>		<p>東部 for Eastern</p>
<p>2/22[日] 17:00～ スガ シカオ Hitori Sugar Tour 「Road to 30th Anniversary」 沼津市民文化センター 7,700円 ※小学生以下入場不可 / 中学生以上要チケット 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>1/29[木] 14:00～ THEカルテットの昭和歌謡コンサート 御殿場市民会館 小ホール 2,500円(当日500円増) 【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000</p>	<p>開催中～3/10[火] 10:00～17:00(最終入場16:30) 選んで、めくって、出会う 井上靖 シークレットブック展 長泉町井上靖文学館 大人・大学生200円、高校生以下無料 【問】長泉町井上靖文学館 tel.055-986-1771</p>
<p>おいしくてモー1杯! 愛鷹山麓で育まれる「あしたか牛」は、風味豊かで柔らかな肉質が特徴です。その魅力を存分に味わえるのがすき焼きやしゃぶしゃぶ。あったかおいしい一皿で気持ち上げ、新年を始めませんか。</p>	<p>1/30[金] 18:30～ 葛西聖司の入門講座 「文楽のツボ」 富士市文化会館ロゼシアター 一般1,000円、学生500円 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500</p>	<p>2025.12/20[土]～4/15[水] 9:00～17:00 「井田末乃のガラス ―折々の風景と身近な草花―展 黄金崎クリスタルパーク 大人800円、小中学生400円、65歳以上700円 【問】黄金崎クリスタルパーク tel.0558-55-1515</p>
<p>3/6[金] 昼の部13:30～、夜の部18:00～ 人形浄瑠璃 文楽 富士市文化会館ロゼシアター 各回一般4,000円、学生1,000円 ※セット券有 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2500</p>	<p>1/31[土] 10:00～11:30 冬のトークイベント 「NHK連続テレビ小説『ばけげ』が話題 小泉八雲と静岡の文豪たち」 長泉町井上靖文学館 参加無料、要観覧料 大人・大学生200円、高校生以下無料 【問】長泉町井上靖文学館 tel.055-986-1771</p>	<p>1/12[月・祝] 10:00～、14:00～ ツキイチごてんばシネマ 上映作品 「お終活 再春! 人生ラブソディ」 御殿場市民会館 大ホール 500円(当日200円増) ※子ども料金あり 【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000</p>
<p>3/14[土]・15[日] 10:00～ 第7回 ごてんばパンフェスとスイーツまつり 御殿場市民会館 小ホールほか 無料 【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000</p> 	<p>2/7[土] 15:00～ 演奏家活動25周年記念 はせみきた 和太鼓コンサート 沼津市民文化センター 一般5,000円、U-25 2,500円 【問】イーストン tel.055-931-8999</p>	<p>田子の浦も登場します 百人一首は、平安～鎌倉期の歌人百人の和歌を一首ずつ選んだ歌集で、江戸時代のかかる人気から遊びとして広まりました。静岡ゆかりの名歌「田子の浦ゆ…」もその一首。静岡県民として、この一枚は譲れません!</p>
	<p>2/8[日] 15:00～ 俳協65th×声優朗読劇フォアレーゼン ～総天然色～ 沼津市民文化センター 8,800円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	

<p>3/15[日] 13:30~ 第10回 アエル高校生吹奏楽フェスティバル ～第26回中東遠地区 高校生吹奏楽部合同演奏会～ 菊川文化会館アエル 500円(当日300円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>2/7[土] 14:00~ 上妻宏光「生一丁!」 月見の里学遊館 うさぎホール S席4,000円、A席3,700円(当日500円増) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>こたつ、進化の物語 静岡の特産品、お茶とミカン。それに合う暖房器具といえは、こたつです。起源は室町時代で、囲炉裏の上に櫓を組み、布をかけて暖を取ったのが始まり。その後は火鉢式、電気式へと進み、今のスタイルになりました。</p>
<p>3/15[日] 14:00~ 楽土の森音楽会 カイ・ベティート SOLO LIVE 楽土舎「風乃家」 一般3,500円、大学生以下1,500円、小学生以下無料 【問】楽土の森アートプロジェクト tel.090-2774-3782</p>	<p>2/22[日] 14:00~ クラリネット&ピアノ デュオコンサート 月見の里学遊館 うさぎホール 一般1,500円、高校生以下500円(当日500円増) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>1/18[日] 14:00~ 月見の里合唱 第九コンサート 月見の里学遊館 うさぎホール 一般1,800円、高校生以下900円(当日500円増) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>
<p>冬の風がつくる砂のアート 遠州のからっ風は平均風速5メートルの北西風。風が1メートル強まるだけで体感温度は1度下がると言われているので、その威力はなかなかのもの。翌朝の中田島砂丘には、その風が生んだ美しい風紋が広がります。</p>	<p>2/23[月・祝] 13:30~ 爆笑!おもしろ名人寄席 三遊亭小遊三・瀧川鯉斗 掛川市生涯学習センター 4,000円(当日500円増) 【問】掛川市生涯学習センター tel.0537-24-7777</p>	<p>1/24[土]~3/8[日] 9:30~17:00(最終入場16:30) 【特別展】 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 京都の日本画一京都画壇の俊英たち一 浜松市秋野不矩美術館 一般1,000円、大学生・専門学校生・高校生・70歳以上500円、中学生以下・障害者手帳所持者無料 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>
<p>3/22[日] 14:00~ THEカルテットの昭和歌謡コンサート 菊川文化会館アエル 一般2,500円、アエル友の会2,200円 【問】マイソングエンタテイメント tel.03-5774-1414</p>		<p>1/24[土]~3/22[日] 9:30~17:30(最終入場17:00) 冬季企画展 「香りのコレクション展」 ～熊野御前と藤の香り～ 磐田市香りの博物館 一般310円、学生(高校生以上)200円、小中学生100円 ※65歳以上は260円に割引(各種割引併用不可) 【問】磐田市香りの博物館 tel.0538-36-8891</p>
	<p>2/27[金]~3/15[日] 11:00~16:30 火・水・木・休場 楽土の森現代美術展「BE NOW」 遠藤加奈、柴田智明、夏目とも子、松村かおり 楽土舎 一般500円、大学生以下200円、小学生以下無料 【問】楽土の森アートプロジェクト tel.090-2774-3782</p>	<p>1/24[土] 14:00~ 劇団たんぼぼ公演 in シオーネ おはなしレストラン 掛川市文化会館シオーネ 一般1,500円、 3歳~中学生以下1,200円(当日200円増) 【問】掛川市文化会館シオーネ tel.0537-72-1234</p>
<p>3/1[日] 14:00~ 三井住友海上文化財団ときめくひととき 三浦一馬バンドネオンコンサート 菊川文化会館アエル 一般2,000円、高校生以下1,000円(当日500円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>3/1[日] 14:00~ 三井住友海上文化財団ときめくひととき 三浦一馬バンドネオンコンサート 菊川文化会館アエル 一般2,000円、高校生以下1,000円(当日500円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>1/25[日] 14:00~ 小林愛実ピアノリサイタル 磐田市民文化会館「かたりあ」 一般4,000円、高校生以下1,000円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551</p>
<p>3/8[日] 14:00~ 牛田智大ピアノリサイタル 磐田市民文化会館「かたりあ」 一般4,000円、高校生以下1,000円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551</p>	<p>3/8[日] 14:00~ 牛田智大ピアノリサイタル 磐田市民文化会館「かたりあ」 一般4,000円、高校生以下1,000円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551</p>	<p>2/1[日] 12:00~、16:30~ 石川さゆりコンサート2026 磐田市民文化会館「かたりあ」 7,500円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-37-8551</p>

県内イベント情報は WEBで ご覧いただけます!

グランシップHPはこちらのQRコードから



<p>開催中~2/8[日] 9:00~17:00 特別収蔵展 浜松ゆかりの歌人たち 賀茂真淵、柳本城西、山田震太郎、村木道彦 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 tel.053-453-3933</p>	<p>3/15[日] 14:00~ スプリングコンサート 藤枝市民会館 1,000円 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931</p>	<p>1/24[土] 15:00~ ジョン・ダウンド to ベンジャミン・ブリテン ～その室内楽・器楽作品を集めて～ 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>
<p>1/11[日] 14:00~ 富士山静岡交響楽団 新春 室内楽コンサート 月見の里学遊館 うさぎホール 一般1,500円、学生(25歳以下の大学生まで)500円 (一般当日500円増、学生は前売・当日同額) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>3/20[金・祝] 14:00~ 第11回 市民吹奏楽団 マリナート・ウインズ×須川展也 静岡市清水文化会館マリナート 一般2,500円、高校生以下1,500円、小学生無料(要整理券) 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>2/8[日] 14:00~ 天童よしみ ヴォイス・ストーリーズ on Classic ～心に染み入る歌を集めて～ 静岡市清水文化会館マリナート S席8,000円、A席6,000円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>
<p>1/12[月・祝] 14:00~ 超実力派 津軽三味線グループ べべん~BEBEN~コンサート 菊川文化会館アエル 一般3,000円、高校生1,000円(当日500円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>春を告げる白い花 静岡市有東木のワサビ田では、例年2月下旬から白い小さな花が咲き誇ります。根は知っていても花を知る人は意外と少ない早春のお楽しみ。栽培発祥の地ならではの光景で、天ぶらでも味わえます。</p>	<p>2/14[土] 15:00~ ザイル・サクソフォン・カルテット 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p> 
	<p>3/20[金・祝] 14:00~ オルガン¥500コンサート スプリング・コンサート 中澤未帆 静岡音楽館AOI 500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>3/22[日] 10:00~15:30(最終入場15:00) おもしろ科学フェスティバル 静岡科学館る・くる 無料(別途入館料がかかります) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>
<p>“海のみるく”のご当地グルメ 浜名湖では明治期から牡蠣の養殖が続き、身の締まりの良さと知られます。その牡蠣をウナギのタレで煮た「牡蠣カバ丼」は冬生まれのご当地グルメ。タマネギやノリ、ミカン皮が香る、浜名湖ならではの味わいです。</p>	<p>3/22[日] 10:00~15:30(最終入場15:00) おもしろ科学フェスティバル 静岡科学館る・くる 無料(別途入館料がかかります) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p> 	<p>2/22[日] 14:00~ 島田彩乃ピアノリサイタル 藤枝市民会館 一般2,000円、高校生以下1,000円 (当日500円増) 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931</p>
<p>1/17[土] 14:00~ 今田篤・佐藤元洋 二人のピアノコンサート 掛川市文化会館シオーネ 一般3,500円、小中高生1,500円 【問】掛川市文化会館シオーネ tel.0537-72-1234</p>	<p>3/7[土]・8[日] 12:00~16:00(最終入場15:30) サイエンスピクニック 静岡科学館る・くる 無料(別途入館料がかかります) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	<p>3/7[土]・8[日] 12:00~16:00(最終入場15:30) サイエンスピクニック 静岡科学館る・くる 無料(別途入館料がかかります) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>
<p>1/18[日] 13:30~15:20 小和田哲男氏講演会 「遠州における豊臣兄弟の足跡」 みをつくし文化センター 1,200円(当日500円増) 【問】みをつくし文化センター tel.053-523-3116</p>	<p>西部 for Western</p>	<p>3/7[土] 15:00~ 子どものためのコンサート 野平一郎 ピアノ・リサイタル ～記憶と現在～ 音の旅 静岡音楽館AOI 一般2,500円、22歳以下1,000円、親子券3,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>

静岡県富士山世界遺産センター

富士山の今は使われていないかつての登山道や巡礼路を探求!



須山口登山道一合目(須山口御胎内)

一須山口登山道・御殿場口登山道調査速報展
企画展 信仰の道から観光の道へ

開催中～2/1[日]

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室
9:00～17:00(最終入館閉館30分前)

料金/一般:300円、団体(有料観覧者20名以上):200円、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等無料(要証明) ※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。
協力/裾野市教育委員会 御殿場市教育委員会



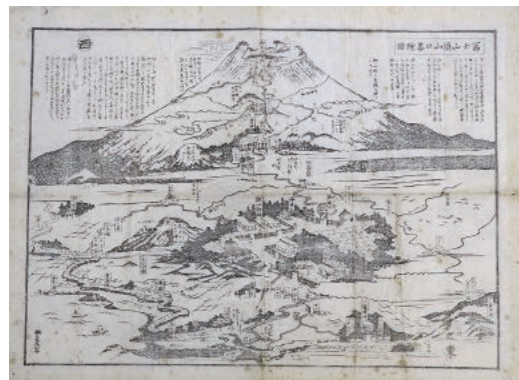
富士山の登山道は江戸時代以前の
前近代社会の信仰の道、
明治時代以降の
近現代社会の観光の道
という二つの側面を
現在も継承しています!

静岡県富士山世界遺産センター 大高 康正 教授



富士山周辺図

信仰の道を辿る



富士山須山口略絵図(裾野市立富士山資料館蔵)

観光の道を知る



富士山東表口便道之略図(御殿場市教育委員会蔵)

須山口登山道は、文明19年(1487年)に聖護院道興がまとめた『廻国雑記』に「すはま口」と登場する古くからの信仰の道です。この登山道の二合八勺付近に合流するかたちで明治16年(1883年)に整備された御殿場駅を起点にする観光の道が御殿場口登山道です。

センターによる富士山巡礼路調査として報告書が3冊刊行しています。今回の企画展では、裾野市生涯学習課及び御殿場市社会教育課と令和3年度から同6年度まで実施した「須山口登山道・御殿場口登山道」の共同調査の成果について紹介します。

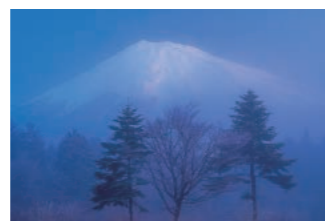
調査報告書(DVD付)ミュージアムショップにて販売中!



見逃さない! 企画展 第6回 絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展

2月21日[土]～3月22日[日] 静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

静岡県富士山世界遺産センター、静岡県観光協会、NHK静岡放送局が主催する「絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト」の応募作品の中から、「県内で撮影した富士山写真(絶景しずおか富士山部門)」、「全国に400座以上あると言われるふるさと富士(見立て富士)の写真(秀景ふるさと富士部門)」の入賞作品を展示します。



第5回絶景しずおか富士山部門グランプリ「霧たつ雲峰」落合正和氏(撮影地:西日塚(富士宮市))



第5回秀景ふるさと富士山部門グランプリ「初夏の公園から」岩本康裕氏(下田富士/一岩山、撮影地:静岡県)

ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡の山・里・海を華やかに彩る「さくら」を求めて推し旅へ!

企画展

サクラ×さくら

一山・里・海を彩る「和」の魅惑

2025.12/6[土]～5/24[日]

ふじのくに地球環境史ミュージアム 企画展示室
“山の桜 里の桜”パート(企画展示室1)・“海の「さくら」”パート(企画展示室2)
10:00～17:30(最終入館17:00)

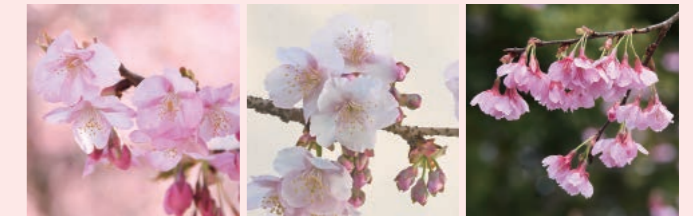
観覧料/一般300円、小学生以上大学生以下・70歳以上・障害者手帳等をお持ちの方無料 ※常設展も併せてご覧いただけます。



実は「さくら王国」静岡。
初春から半年間以上にも
わたって多種多様な
サクラが咲き誇り、
「ご当地桜」も数知れず。
日本でここだけサクラエビ漁も!
洪川 浩一
ふじのくに地球環境史ミュージアム 研究員(魚類担当)

「さくら」を知れば、静岡がもっと楽しくなる!

多様な地形や気候、地理的条件に恵まれた静岡県は、野生のサクラや栽培品種が豊富に見られる地域です。とれたてサクラエビを味わえるのも、静岡ならではの。気になる「さくら」を見つけたら、「さくら推し旅」に出かけませんか?



河津桜

熱海桜

掛川桜



三ヶ日桜

富士菊桜

サクラエビ

多方面から魅力を探る、しずおか・さくら・さくらえび



サクラ学入門

サクラは何の仲間で、どういった特徴があるのか。まずは生き物としてのサクラの基本をおさえ、研究史や最近の知見も紹介します。

白浜桜の花の断面



本物! サクラ大図鑑100

野生種や栽培品種100種類のサクラの花を、透明なアクリル樹脂に封入した実物標本で紹介。多様性を存分に味わえる、日本初の試みです!

アクリル標本



暮らしを彩る桜

お花見だけではなく、桜の魅惑。「食」「香」「匠」など様々な視点から、私たちの日々の暮らしに「和」の彩りを添える桜を振り返ります。

桜葉餅



サクラエビと駿河湾

国内のサクラエビ漁は、なぜ駿河湾でしか行われないのか。現在すすめられているサクラエビの生態に関する研究例などを紹介します。

富士川河川敷のサクラエビ干場

講演会

静岡のサクラのこれまで、これから

- 日時: 2/21(土) 14:00～15:30
- 講師: 勝木俊雄(森林総合研究所 九州支所長)
- ふじのくに地球環境史ミュージアム2F 講堂

サクラエビの「今」を探る

- 日時: 1/25(日) 13:30～16:30
- 講師: カサレト・ベアトリスほか(駿河湾生物環境研究会さくらえびラボ)
- ふじのくに地球環境史ミュージアム2F 講堂



※講演会の詳細は本企画展HPをご覧ください。



HPIはこちらから



HPIはこちらから

中村宏

アナクロニズム

(時代錯誤)の老の語へ

2026.1.20 Tue - 3.15 Sun

Hiroshi Nakamura: Beyond Anachronism

モダニズムに逆行してきた中村は、何を見据えて絵画制作を続けてきたのだろうか。

浜松市出身で日本の戦後美術を代表する画家、中村宏(1932年～)を包括的に紹介する大規模回顧展。アートにおける表現が目まぐるしく変化し多様化する中で、みずからの在り方を「アナクロニズム(時代錯誤)」と呼び、70年以上にわたり描くことにこだわり制作してきた作品を幅広くご覧いただけます。あわせて中村の表現における映画や漫画からの影響、同時代芸術家との交流といった視点からの考察を加えるとともに、彼の1970年代以降の絵画表現についても再検証を行います。

開館時間：10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで) 休館日：月曜日(ただし、2月23日[月・祝]は開館し、翌日休館)

観覧料：一般1,400円(1,200円)、70歳以上700円(600円)、大学生以下無料

※()内は前売及び20名以上の団体料金。※収蔵品展、ロタン館も併せてご覧いただけます。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証・指定難病登録者証の交付を受けている方と付添者1名は無料※入場・事前予約は必要ありません。

主催：静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送 特別協力：東京都現代美術館、名古屋市美術館、練馬区立美術館、浜松市美術館、宮城県美術館 助成：芸術文化振興基金助成事業

【1950年代半ば～1960年頃】「ルポルターージュ絵画」を代表する作家の1人として活動し、社会的な状況を描写。



《砂川五番》1955年 東京都現代美術館蔵



《階段にて》1959-1960年 宮城県美術館蔵

【1960～70年代】時代精神を映し出すセーラー服の女学生や機関車をモチーフにした作品を多く制作。



《円環列車・B-飛行する蒸気機関車》1969年 東京国立近代美術館蔵



《空襲 1945》2022年 東京国立近代美術館蔵

【1970年代以降】絵画の構造を探求し続け、2022年には戦争記憶をテーマにした作品を発表。

【展覧会】2000年代の絵画～静岡ゆかりの作家による 2026年1/20(火)～4/19(日)
 本展では、浜松出身の画家中村宏の個展開催にちなみ、静岡にゆかりのある1970～1980年代生まれの石田徹也、大庭大介、小左誠一郎、門田光雅、持塚三樹の5人の作家が1990年代後半以降に描いた絵画をご紹介します。写真、映像、インスタレーションなどさまざまな表現方法がある中で、絵画を主な表現媒体にして表現を追求するそれぞれの作家たちの、描くことへのこだわりを見つけてください。

石田徹也《飛べなくなった人》1996年 静岡県立美術館蔵

静岡県立美術館のウェブサイトはこちら→



静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
 企画総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
 学芸課Tel.054-263-5857
 ウェブサイト…https://spmoma.shizuoka.shizuoka.jp

『ガリレオ～ENDLESS TURN～』演出・多田淳之介インタビュー



撮影：牧田奈津美 (F4.5)

多田淳之介
(ただ・じゅんのすけ)

演出家。東京デスロック主宰。古今東西の戯曲、ダンス、観客参加型など多彩な作品を国内外で上演。創作活動と並行して公共劇場の芸術監督やフェスティバルディレクターなどを歴任。全国の劇場や学校、地域施設でのこもからシニア、外国人、障害のある方など様々な人々との創作やアートによる地域課題への取り組みを実践している。SPACでは、18年に『歯車』(作:芥川龍之介)、23年に『伊豆の踊子』(作:川端康成)を演出。

第一線で活躍するアーティストたちの演劇作品をお届けするSPACのシーズンプログラム。2026年1〜3月は、ベルトルト・ブレヒトの傑作戯曲を多田淳之介が現代の視点で捉えた『ガリレオ〜ENDLESS TURN〜』を上演。2023年に新感覚の舞台『伊豆の踊子』で多くの若者を魅了した多田が、科学と権力、そして知の責任をめぐる歴史的大作を、総勢20名の俳優による群集劇として立ち上げます。

世界は今も回り続ける——真理を追い求めた半生を描く

「ブレヒトの『ガリレオの生涯』を選んだのはなぜですか？」

これまでSPACと創作した『歯車』や『伊豆の踊子』は小説の舞台化だったので、戯曲がやりたいという話をして(笑)。僕自身ブレヒトの戯曲を演出したことがなかったのと、読んでみたら今取り上げるのにすごく面白い。1945年に広島と長崎に原爆が落とされた後にブレヒトが書き直したバージョンもあるんですが、現代人が科学とどう関係を持つのか。今シーズン全体のテーマ「きょうを生きるあなたとわたしのための演劇」にも繋がると思いました。

「多田さんの舞台は、若い方もワクワクするようなポップさが印象的ですが、今回はいかがでしょうか？」

特にここ数年はコロナもあったり、せっかく劇場に集まるなら、みんなで楽しい時間を過ごせる作品にできたらいいなと思っていて。この戯曲には、カーニバルのシーンがあるんですけど、そこはちょっと楽しい趣向になりそうです。それから、身近なこととして捉えてもらえるよう、戯曲で描かれているテーマが現代でどういう形になっているのか、そういうことを表現できた

らしいなど。『伊豆の踊子』でも、当時の旅芸人たちが、虐げられていた人々を現代に置き換えるとヒップホップやラップといったブラックカルチャーと繋がるという話から、ラップのコンサートみたいなシーンが生まれました(笑)。

今回は、天動説と地動説はいつからあるのか、人と星と科学の関係とか、ちょっと人類史がわかるような仕掛けも考えています。さらにはガリレオのあの時代のニュートンやアインシュタインなど、科学の歴史もふくめてどこまで描けるか：行けるところまで行きたいと思っています。

「この作品を通して、お客様にはどんなことを感じ取っていただきたいでしょうか？」

「希望」や「明るい未来」が想像できる作品になればいいなと思っています。ガリレオは教会との対立で地動説を引っ込めたけど、研究は続けていた。人類が同じことを繰り返してしまっているのはネガティブなことでもあるけど、決して「希望」を忘れてはいけない。上演するからには、未来のことをポジティブに考えられる機会にしたいです。



ガリレオ～ENDLESS TURN～

いまわたしたちが常識としているものは、いつ誰によって唱えられたものなのか——

台本・演出：多田淳之介 原作：ベルトルト・ブレヒト

1月18日(日)・24日(土)・25日(日)
 2月1日(日)・14日(土)・15日(日)・3月7日(土)

各日13:30開演 会場：静岡芸術劇場

チケット好評販売中!



稽古風景 撮影：牧田奈津美 (F4.5)

チケット料金(税込) ● 一般：4,600円 ● U25・学生割引：2,200円 [25歳以下および大学生・専門学校生] / 1,100円 [高校生以下]

〈チケットのご予約・お問い合わせ〉
 SPACチケットセンター

【電話】054-202-3399 (10:00～18:00 | 休業日：12/25、12/30～1/3を除く)
 【ウェブ】https://spac.or.jp/ticket

主催・製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造



公演やアウトリーチ活動の最新情報は、SPAC公式サイトをご覧ください。
<https://spac.or.jp>



GRANSHIP こどもたちのための文化芸術プロジェクト

こちらのプロジェクトでは、こどもたちのための取り組みが将来に渡り継続的に実施できるよう、静岡県内の企業の皆様にご協力をいただいています。



IAI
Quality and Innovation

アイエイアイは
社会にやさしい活動をしています

2025年始動 **IAIパラスポーツパーク**
パラスポーツ大会イベント随時開催中!

大会の詳しい内容は
パラスポーツパークHPをご覧ください
<https://iai-parasports.jp/>

株式会社 **アイエイアイ**
本社 〒424-0114 静岡県静岡市清水区庵原町 1210
TEL 054-364-5301(代) FAX 054-364-5182
国内営業拠点全 31 箇所 / 東京・大阪・名古屋他
海外営業拠点全 13 箇所 / アメリカ、ドイツ、中国他



将来の夢。新たな挑戦。
持続可能な社会。
その一つひとつに答えるために。
みなさまと想いを重ね、
この街にひとつでも多く、
未来がはじまる場所を
つくっていく。

未来がはじまる場所になる。

静岡銀行
未来がはじまる場所になる。

(公財)静岡県文化財団では、「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」にご協賛いただける企業を募集しています。
協賛内容の詳細については、グランシップホームページをご覧ください。



グランシップ こどもたちのための 文化芸術プロジェクト

こどもたちのための
文化芸術
プロジェクトとは?

(公財)静岡県文化財団は、静岡県の未来を担うすべてのこどもたちが、多彩な文化・芸術を体験できるよう、様々な事業に取り組んでいます。

こども・学生のチケット料金は1,000円

グランシップ企画事業は、こども・学生料金(28歳以下の学生)を1,000円とし、こどもたちが多彩な文化芸術に触れるきっかけとしています。



中高生鑑賞プラン・交通費支援制度

中高生が学校やクラス、部活動の団体等で教員の引率の元、グランシップ企画事業を鑑賞する際は、こども・学生料金を800円とし、また、学校からグランシップ(公演会場)までの交通費を全額負担。会場までの距離に関わらず県内の中高生が様々な公演を鑑賞できる環境づくりに取り組んでいます。



グランシップ子どもアート体験!学校プログラム

小中学生等が多彩な文化芸術に触れることができるよう、国内外の第一線で活躍している実演家や静岡ゆかりのアーティストとともに、県内の小中学校、特別支援学校等に出向き、文化・芸術を届けるアウトリーチプログラムを実施しています。



ひとり親家庭への公演招待

こどもたちが様々な文化・芸術に触れることにより、想像力を育み、世界を広げ、心豊かな生活の一助となる取り組みを行っています。



《協賛企業》(株)静岡銀行、(株)アイエイアイ、鈴与(株)、(株)アイワホールディングス

(2025年12月現在)

令和8年度グランシップ音楽公演速報

2025年12月の情報です。各公演の詳細は、順次グランシップホームページ等でお知らせします。

第18回ショパン国際ピアノ・コンクール優勝 ブルース・リウ ピアノ・リサイタル

6/13(土) 17:00～ 中ホール・大地

〈曲目〉
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第14番「月光」嬰ハ短調 Op.27-2
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第21番「ワルトシュタイン」ハ長調 Op.53
ショパン:ノクターン 第7番 嬰ハ短調 Op.27-1
ドビュッシー:夢 リスト:スペイン狂詩曲 他

友の会先行販売 1/25(日)～ 一般発売 2/1(日)～



原田慶太楼指揮 NHK交響楽団 ～ジョン・ウィリアムズの世界～

6/27(土) 15:00～ 大ホール・海

〈曲目〉
「スーパーマン」「E.T.」「ジュラシック・パーク」
「レイダース/失われたアーク」
「ハリー・ポッター」から「ヘドウィグのテーマ」
「スター・ウォーズ」組曲 他

友の会先行販売 1/25(日)～ 一般発売 2/1(日)～



原田慶太楼



NHK交響楽団

TICKET グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がおすすめです。)

グランシップWEBサイトから

https://www.granship.or.jp/visitors/
https://yyk1.ka-ruku.com/granship-s/



パソコンまたはスマートフォンで、グランシップWEBサイトのトップページの「チケット購入」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取
コンビニ(セブン-イレブン、ファミリーマート:手数料無料)
郵送(送料430円)、電子チケット(手数料無料)、グランシップチケットセンターが利用できます。
(予約日から7日以内)

お電話で

グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000(10:00～18:00)※休館日を除く
チケットの受取 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)
郵送(送料430円)、グランシップチケットセンターが利用できます。
(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で

グランシップ内チケットセンター窓口(10:00～18:00)※休館日を除く
チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.44 読者アンケートプレゼント

水沢なお サイン入り書籍

1名様

「GRANSHIP」Vol.44のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、2025年11月9日に開催した「2025年しずおか連詩の会」に出演した水沢なおさんのサイン入り書籍『うみみたい』を1名様にプレゼントいたします。グランシップHPの申込フォーム、またはメール・郵便はがきで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。



[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2026年2月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
グランシップマガジン「GRANSHIP」vol.44 プレゼント係

メール宛先 info@granship.or.jp
(件名に、「GRANSHIP」vol.44
読者アンケート係 とご記入ください)



グランシップHPの専用申込フォームはこちら

GRANSHIP SUPPORTER



グランシップでは、スタッフと共にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約110名が「グランシップサポーター」として活躍中!今回はグランシップ主催公演でお客様をお迎えする「レセプション・ト部門」の活動の様子をお伝えします。

“芸術の秋”にふさわしく、9月～11月はグランシップでも多くの主催公演が開催されました。お客様をお迎えするのは「レセプション・ト部門」のサポーター。綿密な事前ミーティングに始まり、会場オープン時のお出迎えやお客様のご案内など様々な役割についてめまぐるしく動き回っていると、あっという間に終演に。サポーターからは「常に新しいことに対応するのでやりがいがあります」という声も。

グランシップでは2026年4月デビューの
第29期サポーターを募集中!
締切は1/20(火)まで 詳しくはHPへ▶▶▶



編集後記

普段は一人で創作をすることが多い詩人の皆さんにとって、複数人で三日間に渡り共に創作をする「しずおか連詩の会」の醍醐味は、互いに影響し合うことで思いもよらない表現が生まれることなのだそうです。また、今回の連詩の会では往年の文芸ファンが思いがけず出会ったラッパーの言葉に共感するという体験も生まれました。グランシップではこれからも新しい発見や感動に出会える場を提供していきます。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさん子どもたちに本物の芸術をお届けする、アウトリーチ活動を実施しています。



「村田陽一ビッグバンド」 関連アウトリーチ 静岡県立静岡東高等学校 演奏指導

9月21日(日)
静岡県立静岡東高等学校 吹奏楽部42人
講師:村田陽一
(トロンボーン奏者、作曲家、プロデューサー)

グランシップが一流のアーティストとともに県内の学校へ向くアウトリーチ活動。今回は、トロンボーン奏者で作曲家の村田陽一さんが、母校である静岡県立静岡東高等学校吹奏楽部へ向き、演奏指導を行いました。

在校当時、まさに吹奏楽部に所属していた村田さんは、「懐かしい。変わってないね」と言いながら校舎に足を踏み入れ、生徒たちは、現在の静岡東高の定番曲コンサート・マーチ「バンドロジ」と、クイーンの名曲「Don't stop me now」を演奏。村田さんは、これまでの経験を踏まえて、生徒たちに様々なアドバイスを送りました。

高校時代の村田さんは、「メロディーが吹きたい」という思いから、合奏の合間に様々な楽器の席に座っては、その譜面をトロンボーンの調に読み替えて奏でていたそう。それがスコアを書くのに役立ったというエピソードも交えながら、後輩たちへ音楽との向き合い方を伝えます。

「合奏のパート部分だけでなく、1人でメロディーを演奏したり、四重奏などの小編成で成立するものを演奏してみることが、総合的な音楽の表現につながる。まずは、やりたいことをやるのが前提。そのために自分と向き合い、弱点や課題を自ら考

音楽で「やりたいことをやってみる」という意識がなかったので、もう少し自分の感覚に正直になろうと思いました。(生徒)



印象に残ったのは「楽譜を疑う」という言葉です。元の楽曲の音を聴いて、インスピレーションを得ようと思いました。(生徒)



先輩である村田さんご本人に直接色々なお話を聞けたことが、生徒たちにとって何より貴重な経験になったと思います。(先生)



村田さんが中学生のうちにプロになろうと思っていたと聞いてとても驚きました。(生徒)